



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.12.9 No.3705

津田沼支部第16回定期大会開催

山田支部長の下93年へ一丸となれ

三名の強制配転はねのけ
差別・選別攻撃

悪動乗勤はこのままにできない
改悪乗勤は

山田支部長あいつつー

一月二日、津田沼支部第一六回定期大会が、習志野市・錦楽において開催され、この間の支部破壊を目的とした組合員三名への強制配転や職場での差別・選別攻撃に對して、支部を挙げて闘いぬくことが決定された。

大会は、斉藤執行委員の司会で一六時から開催され、議長に相馬

中野委員長、当面の方針を提起

『明日からの闘いの力に』(京葉支部の仲間より)

来賓として中野委員長から、JR体制がキシミ始めていること、運転保安確立に向けた闘いの方向性、解雇撤回に向けた取り組みなど、当面する動労千葉の方針が提起された。また、京葉支部より仲間が駆け付け「今日の全員の意見を、明日からの闘いの力にしよう」と連帯の挨拶を行なった。

九一年度一般経過、決算、会計監査が報告され、さらに九二年度

新たに副支部長石川君、書記長高沢君を選出し、役員体制を確立。

役員選出では、新たに石川くんを副支部長、高沢君を書記長に据えた役員体制が決定された。

庄司書記長より大会宣言が高らかに発表され、最後に山田支部長の団結カンパロー三唱で大会は成功裡に終了した。

君を選出し議事が進められた。まず、挨拶に立った山田支部長は、「始業が増えたにもかかわらず要員が増えず、乗務員への責任が重くなっている。改悪された動乗勤をこのままにしておくことはできない」と、闘う決意を明らかにした。

運動方針案、予算案が提起され質疑に入った。①東海などで無資格運転が問題になっているが東日本の中ではどうなっているのか、②少し変えれば楽な交番になるのに当局は現場の意見を聞こうとしない、③当直で靴の色や態度を隠れてチェックしている、これが会社をやることか、など様々な意見が出され、これからも、支部一丸となって闘うことが確認された。

青年部は、支部の中心で闘いぬく

また、当日は、一四時から支部青年部第一五回定期委員会も開催【九二年度役員体制】

され、福島青年部長を先頭に支部の中心で闘うことが確認された。

役職名	氏名	年齢	職名
支部長	山田 邦夫	四二	電運士
副支部長	石渡 英夫	四四	車技
書記長	石川 義雄	四二	電運士
書記次長	庄司 仁	三三	"
執行委員	高沢 成夫	三三	"
	鈴木 文男	四二	"
	斉藤 市郎	四二	"
	結城 敏之	三一	車両
	大川原 洋	四九	事務
特 執	浜野 善弘	三二	営指
青年部長	福島 勝之	三三	電運士
会計監査	内山 敏光	三四	"
	斉藤 守秀	三一	車両



動労西日本は、次期ダイ改でJR西日本が導入しようとしている改悪動乗勤に反対して、一月二



差別・選別攻撃を跳ねのけ、支部一丸となって反撃に決反合・運転保安確越する反戦を決成と担力強く闘乗勤を

八日、第一波ストライキを闘いぬいた。第一波ストでは、動労西日本の出口副委員長が北陸・金沢の地で決起し、金沢運転所にはストライキ決行中の立て看板が立てられた。一動乗勤導入を許さない。JR総連、JR連合の労働者は動労総連合に結集し、ともに闘おう」と出口氏は訴え、支援に駆け付けた多くの労働者市民から激励の拍手をうけ、ストライキを貫徹した。